



第 116 号

編集 P T A 係  
発行 長野県下伊那  
農業高校PTA

# 本年度PTA活動について

PTA会長 伊藤 和宏



四月の第一回PTA幹事会・代議員会からスタートしました本年度のPTA活動も残すところあと僅かとなりました。会員の皆様には常にPTA活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。年度末にあたり本年度のPTA活動を振り返ってみたいと思います。

四月の第一回PTA幹事会・代議員会からスタートしました本年度のPTA活動も残すところあと僅かとなりました。会員の皆様には常にPTA活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。年度末にあたり本年度のPTA活動を振り返ってみたいと思います。



## ご挨拶

校長 嶋崎 文男

本年度は例年にも増して生徒の活躍が目立った年でした。大変うれしく思っています。それらの成果は、生徒の意識の高さと努力、保護者の皆様方のご理解とご協力、そして本校職員の指導がうまく噛み合った結果であったと思

います。しかし、必ずしも毎年同じような結果が得られるとは限りません。そこで、生徒には、大切なのは結果そのものではなく、そこに至るまでの過程であるということをお伝えするようにしています。たとえ結果に結び付かなかったとしても、そこに至るまでの意識の持ちようや努力は、必ず次に繋がるものと思っております。

さて話は変わりますが、以前次のような投稿が目に残りました。そこには、「仕事に行く道すがら車の中から必ず目を向ける一枚の掲示板がある。それは、ある寺の前に立てられた掲示板である。そこに書かれた言葉にいつもハッとさせられる。先月は、人生はやり直しはできないが、見直しはできるのだ。そして、今月は、頭をさげ、頭がさがる、似たような言葉だがこの違いは大きい。」と書かれていました。

頭をさげるといふ行動は自らの意志で行うものであるのに対し、頭がさがるというのは人としての本能や感性に基づく無意識の行動と言えます。他人の行いを見て感動したとき、また他人にしても

らったことに対する感謝の気持ちを持つたとき、人は自然と頭をさげるのではないのでしょうか。しかし、今日の社会では、こうした自ら頭をさげなくなるような場面が少なくなっている気がしてなりません。まずは、自分自身が周囲の人に「感謝」の気持ちを持つてもらえるように自らの行動を見つめ直す必要があると思えます。そして、みんながそういう気持ちを持つてば、ギスギスした社会がもっと大らかで暮らしやすい社会に変わっていくのではないかと思います。やってもらって当たり前という価値観から「感謝」の二文字は生ま

る事ができました。午前中のアサヒビル名古屋工場での試験で早くも仕上がってしまっただけでなく、有意義な旅でした。飯伊地区高等学校PTA連合会役員総会に始まり長野県高等学校PTA連合会・北信越PTA連合会研修大会では各校の取り組みを知る事ができ大変勉強になりました。ま

た、普段接する機会の無い他校の役員の方々と意見交換などでも刺激を頂けました。今年度は十月に2018信州総文祭プレ大会が開催され、総合開会式では高校生の若々しいエネルギー溢る発表を見させて頂き心を洗われて帰ってきました。高校野球を代表とする運動系のクラブ活動が注目される中で音楽・演劇など文化系クラブの全国大会として来年度八月に県内各地で開催されます。お時間のある方は是非会場に足を運んで頂き高校生の熱き想いと真つすぐな姿を是非観て頂きたいと思えます。

九月には保護者教職員のつらったことに対する感謝の気持ちを持つたとき、人は自然と頭をさげるのではないのでしょうか。しかし、今日の社会では、こうした自ら頭をさげなくなるような場面が少なくなっている気がしてなりません。まずは、自分自身が周囲の人に「感謝」の気持ちを持つてもらえるように自らの行動を見つめ直す必要があると思えます。そして、みんながそういう気持ちを持つてば、ギスギスした社会がもっと大らかで暮らしやすい社会に変わっていくのではないかと思います。やってもらって当たり前という価値観から「感謝」の二文字は生ま

最後になりましたが、この一年間数多くの体験と勉強をさせて頂きありがとうございました。教職員の先生方、PTA会員の皆様には大変多くのご支援を賜りましたことをあらためてお礼申し上げます。大変お世話になりました。

# 会務報告

事務局長 龍口 英男

会員の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今年度の活動報告をさせていただきます。

四月六日の入学式後には、一学年の学級代議員と本会への役員を選出していただきました。四月中旬には第一回代議員会が開催され、二十八年度事業・会計決算・監査報告、今年度事業計画・会計予算について慎重な審議をいただきました。また、役員交代に際してPTA活動にご尽力いただきました宮内博久会長、細井澄子副会長に感謝状が贈られました。五月下旬にはPTA総会が開催されました。先だって行われた教育懇談会では会員と全校生徒で、上田情報ビジネス専門学校副校長の比田井和孝先生から「幸せな人生を歩むために大切なこと」と題し講演していただきました。総会では、代議員会で承認いただいた議事が報告されました。その後、学年・学級PTAが開催され滞りなく総会日程を終えることができました。六月にはPTA合同部会が開催され、地区懇談会の計画立案をしていただきました。七月上旬に開催された地区懇談会では多くの出席をいただき、いろいろ

な情報やご意見をいただくことができました。八月下旬には愛知方面へのPTA研修旅行が行われ、六十七名の参加がありました。会員相互、教職員との懇親も深まりました。二月中旬は第二回代議員会が開催され、今年度の事業・会計決算中間報告が承認されました。

この一年間、役員・会員の皆様のご支援とご協力をいただく中で多くの事業が開催されました。今後もPTA活動を通して、生徒の幸福増進に向けた相互の協力がなされればと思います。一年間ありがとうございました。

# 教育広報部活動報告

教育広報部長 片岡 俊治

寒さ厳しさも一歩一歩春に近づき今日このごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。

子どもの入学が決まると同時に、クラス役員のお話しを頂きました。三年間の役員は長いなと思いましたが、子どもと共に下農に関わった事は大変良かったと思います。

さて本年度の教育広報部の活動を振り返ってみますと、教育懇談会、PTA研修旅行、PTA会報の発行、生徒諸活動助成などありました。教育懇談会は、五月二十七日総会前午前中に上田情報ビジネス専門学校副校長の比田井和孝先生をお招きしまして「幸せ

な人生を歩むために大切なこと」と題し講演をして頂きました。生徒・先生方・PTA会員大勢の参加者があり、大変有意義な時間でした。PTA研修旅行は、八月二十六日に南知多方面で企画したところ、六十七名の参加者があり「アサヒビール名古屋工場」見学、昼食の懇親会は「活魚の美舟」で新鮮な魚料理をいただき、先生方と会員相互の親睦を深めました。「豊浜かなひろば」・「めんたいパーク」でお土産を買い、無事何事もなく楽しい旅行となりました。

今年一年、教育広報部長を

# 生活指導部の活動を振り返って

生活指導部長 岩崎 健一

子供の下農入学と同時に担任の先生から、学級と学年役員のお話しをいただき、私も子供達と一緒に頑張ろうと、監事として、また生活指導部としての一年目をスタートしました。そして、二年目から生活指導部の副部長、三年目に部長と、あっとい間の三年間でした。

さて、本年度の生活指導部の活動を振り返ってみると、四月と六月に部会を二回開催

しました。六月十九日から七月三日までに五日間、JR鼎駅において、先生一名・保護者二名で、立ち番を行いました。七月六日には下伊那地区高等学校生徒指導拡大連絡協議会が飯田OIDE長姫高等学校で開催され、各校の近況報告とPTAの活動状況について発表・確認して参りました。十一月三日には、稲丘祭の警備を担当制にて行いました。先生のご指導と皆様のご

協力により、年度を通して部員三十一名全員が参加して生活指導に当たれたことに感謝申し上げます。

会長以下役員の皆様、先生方には、三年間大変お世話になりました。

最後になりますが、下伊那農業高校と今後のPTA活動がより一層発展することを願い、今年度の活動報告とさせていただきます。

している中で、生徒の頑張りが私を勇気づけさせてくれました。運動系・文化系・農業クラブ活動のどれもが、私をわくわくさせてくれました。最高の生徒だと思えます。最後にこの一年間先生方・PTA会員の皆様のご協力により、教育広報部の事業を無事に終えることができ、心より感謝申し上げます。今後ともPTA活動がより一層発展する事を願い、今年度の活動報告とさせていただきます。大変お世話になりました。



# 稲丘祭を振り返って

自治活動部長 高本 慎一郎

校友会最大の行事である第  
六十三回稲丘祭が、十一月三・  
四日に開催されました。

準備段階を含め、稲丘祭を  
振り返りたいと思います。

五月の連休明けより計画に  
着手しました。企画(前夜祭、  
開・閉祭式、後夜祭等)およ  
び係(アーチ、垂れ幕、校内  
装飾、机・いす管理等)を分  
担し、昨年の内容をもとに案  
を練っていきました。

時間に余裕を持って取り組  
むよう意識していたつもりで  
すが、他の行事や、3年生の  
就職・進学試験もあり、なん  
とか間に合ったというのが実  
際のことです。

迎えた一般公開当日、地域  
では大規模なイベントが開催  
されましたが、多くの方に  
来校いただきました。

毎年ご好評いただいている  
農産物販売には今年度も朝早  
くからお並びいただき、開場  
前にすでに最後尾を探さなく  
てはならないほどの列となり  
ました。駐車場のグラウンドも  
ほぼ満車となり、ありがたさ  
とともにご不便をおかけして  
心苦しく思っております。

有志による出店、食品化学  
科の販売も多くの方にご利用  
いただきましたが、調理が追  
いつかず、長くお待たせした  
方もいらっしゃるかと思いま

す。感謝とともにおわび申し  
上げます。

校舎内に移ります。学科展  
では各科の専門的内容の展示  
のほか、人形劇(アグリサー  
ビス科)、寄せ植え体験(園  
芸クリエイト科)など気軽に  
立ち寄っていただけたる企画も  
ありました。文化班(芸術・  
吹奏楽・演劇・茶道・生花・  
生物・インターアクトクラ  
ブ)、農業クラブ等の発表・  
展示でも日々の活動の成果が  
見られました。多くの方に足  
をお運びいただき、生徒は達  
成感を得て、さらに今後の励  
みになったと思います。

二日目の校内企画は体育祭  
でした。幸い天気にも恵まれ  
、大いに盛り上がりました。後  
夜祭の有志によるダンスやパ  
ンド演奏では、普段の学校生  
活と結びつかないほどのすば  
らしい発表が続き、さらなる  
盛り上がりを見せました。

計画段階から稲丘祭翌日の  
片付けまで、多くの生徒が関  
わり、稲丘祭を支えてくれた  
ことをうれしく思っていま  
す。保護者の皆さまにも一般  
公開中の警備にご協力いただ  
き感謝申し上げます。

校友会は新しい役員体制で  
動き始めました。来年度はさ  
らに充実した稲丘祭となるよ  
う取り組みたいと思います。



(写真提供：堀本写真館)

# 平成29年度卒業生の進路状況

(平成30年3月卒業予定者)

平成30年2月14日現在

卒業生数				合計	アグリ サービス	農業 機械	園芸 クリ エイト	食品 化学	
男子	71人			計	39	39	41	37	
女子	85人	人数	比率	男	9	39	17	6	
合計	156人			女	30	0	24	31	
就職者	管内	54	34.6%	男	3	19	6	2	
				女	4	0	7	13	
				男	3	0	2	1	0
				女	0	0	0	0	0
男子37人 女子31人 小計68人	県内	3	1.9%	男	1	0	1	0	
				女	0	0	0	0	
比率 43.5%	公務員	6	3.8%	男	0	0	0	0	
				女	6	4	0	1	1
進学者	四年制大学	10	6.4%	男	8	2	1	4	1
				女	2	1	0	1	0
				男	3	0	2	0	1
				女	20	10	0	4	6
男子32人 女子53人 小計85人	短期大学	23	14.7%	男	2	0	1	0	
				女	2	1	0	1	0
比率 54.5%	専修学校等	48	30.8%	男	19	4	10	4	1
				女	29	10	0	9	10
未定	3人	3	1.9%	男	2	0	0	1	
				女	1	0	0	1	

## 進路状況について

進路指導部 何原 津壽子

今年の本校三年生の二月十四日現在の進路状況ですが(以下別表参照)、就職予定者は七十名で、昨年より二名の増加です。管内事業所の求人件数は、四年前に増加し始め、ここ三年はほぼ九十数件を維持しています。求人職種は、製造業が多く、販売や事務を希望する生徒にはまだ厳しい状況です。昨年同様、校内では比較的希望が重複せず、一次でほとんどの生徒が希望の事業所から内定をもらい、早

に影響していると感じます。同窓の先輩が今まで積み重ねてくださった「下農ブランド」が広く浸透しているお陰で有り、本当にありがたく思っています。こうした信頼は一朝一夕に得られるものではありません。これからの卒業生も本校と事業所との良いつながりを是非続けていってほしいと思います。

進学につきましては、これから試験などまだ未定者が数名いますが、今年度は八十六名程になる見込みで、内訳は、四年制大学十名、短期大学二十三名、農業及び林業大学四名、専修学校など四十八名です。農業関係への進学は宇都宮大、日本大に二名、東京農大、酪農学園大、県の農業大学校などに三名です。ここ数年は看護の希望者が増え、一般試験に挑戦しています。その他の主な分野は、健康栄養、幼児教育、家政、自動車工学、看護・医療、調理・製菓、理美容、動物、スポーツ、フラワー、などです。推薦の少ない看護を除くと、ほとんどの生徒が推薦入試(指定校推薦、AO入試、公募推薦)を利用して合格します。専修学校を中心にして、入試の時期が早まり、複数回行う傾向が続いています。学校側の早く生徒を集めたいと、生徒も早く進路を決めたいという両者の意思が重なっています。

**進学先** 《四年制大学》愛知学院(文学)、宇都宮(農)、東海学園(健康栄養)、東京農業(生物産業)、日本2(生物資源2)、酪農学園(農食環境)、和光2(現代人間、表現)

《短期大学》愛知学泉(食物栄養)、愛知文教女子(生活文化)、大垣女子(歯科衛生)、飯田女子14(幼児教育3・家政8・看護3)、岐阜聖徳学園大学短大部(幼児教育)、中日本自動車(自動車工学)、南信工科(電気)、名古屋2(現代教養、保育)、松本大学松商短大部(経営情報)

《農業大学校》長野県農業大学校3(総合農2・畜産実科)、岐阜県立国際園芸アカデミー、長野県福祉大学校2(保育2)

《専修学校》看護・医療8、調理・製菓7、自動車整備6、理美容4、動物3、スポーツ3、情報3、医療事務・ビジネス2、フラワー2、芸術1、観光1、ファッション1、ブライダル1

**就職先** 管内…旭松食品、NSKマイクロプレジジョン、エヌティーツール、エププラス、お菓子のシアワセドーナ、オートパルいいだ、木村内装、コーエー精機、KOA七久里の杜3、コーケンフード&フレーバー、輝山会記念病院、クロダ精機、コシブ精密、コバックス3、小林製袋2、JMC2、シチズン時計マニュファクチャリング2、信濃雪、ジョイフル・テン2、信菱電機、大和グラビア、谷口醸造、多摩川精機エレクトロニクス2、多摩川パーツマニュファクチャリング、多摩川ロジステック、中部労働技能教習センター、中部フォレスト、ちさと東、天恵製菓、TDK庄内、ナガイ、夏目工学3、南信州菓子工房、日本郵便2、野中製作所、パテック、原ホンダ、卑弥呼カンパニー、藤本電気商会、マツザワ、丸運工業、三笠設備、みなみ信州農業協同組合3、ヤザワ工業

県内…ENEOSウイング信越、独立行政法人自動車技術総合機構、長野県Aコープ

県外…エーシーオー、キャストパワー

公務員…阿南町役場、飯田市役所、泰阜村役場、長野県高校実習教員、長野県警察、海上自衛隊